お客様の安全のために

利用規則

ホテルの安全性を確保するため、当ホテルをご利用のお客様には宿泊約款第10条に基づき下記の規則をお守りくださるようお願い致します。
この規則で定められた事項を願えないときは、宿泊約款7条により宿泊継続をおことわりさせていただくことがあります。

記

1. 客室内で暖房用、炊事用の火器等はご使用にならないでください。
2. ベッドの中など、火災の原因となりやすい場所での喫煙はなさらないでください。
3. ロビー及び客室内に次のようなものをお持ち込みにならないでください。
   (イ)動物、鳥類(ペット類)。
   (ロ)著しく悪臭を発するもの。
   (ハ)火薬や揮発油など発火あるいは引火しやすいもの。
   (ニ)適法に所持を許可させていない銃砲刀剣類。
4. ホテル内で、賭博及び風紀を乱すような行為、又は他のお客様に迷惑を及ぼすような言動はなさらないでください。
5. 訪問客を客室にご案内しないでください。
6. 客室やロビーを事務所展示室がわりに使用しないでください。
7. ホテル内でのお客様に広告物を配布するような行為はなさらないでください。
8. ホテル外からの飲食物等のご注文はなさらないでください。
9. お預かりしたクリーニングやお忘れ物の保管(食品類は除く)につきましては、チェックアウト後3ケ月とさせていただきます。その後につきましては適切な処置に基づき取り扱いさせていただきます。
10. 館内の備品についてのお願い。
    (イ)その目的以外の用途にご使用なさらないでください。
    (ロ)ホテルの外に持出さないでください。
    (ハ)他の場所に移動や加工したりなさらないでください。
11. 客室は、ご宿泊以外の目的にはご利用なさらないでください。

お願い

1. お会計は、ご到着の際にお支払いください。又は、1泊ごとなどで、フロントから勘定書の提示がありましたら、そのつどお支払いください。
2. 領収書は原則としてチェックアウトの際に発行させていただきます。尚、フロントで領収した金額以上の金額や、別の領収書との合算はお断りしておりますので、ご了承ください。
3. お支払いについてのご不明な点がございましたら、ご遠慮なくフロントへお尋ねください。
4. 宿泊者以外の客室でのご面会はご遠慮くださいますよう、特にお願いいたします。

For your safety

Rules

To ensure hotel safety, guests using this hotel should obey the rules below, based on Article 10 of the Accommodation Contract.
If a guest cannot obey an item established in these rules, then we may refuse to continue the guest's stay, by Article 7 of the Accommodation Contract.

Notes

1. Don't use a flame device for heating or cooking, etc. in a guest room.
2. Don't smoke in bed or other places where a fire can start easily.
3. Don't bring the following things into the lobby or guest rooms.
   (a) Animals, birds(pets).
   (b) Very bad smelling things.
   (c) Flammable things : gunpowder, volatile oil, etc.
   (d) Guns or swords not allowed to have legally.
4. Don't gamble, do acts that disturb public morals, or speak or act in ways that bother other guests in the hotel.
5. Don't guide visitors to rooms.
6. Don't use the guest room or lobby as an office or exhibit room.
7. Don't display ads or do similar acts in the hotel.
8. Don't order food or drink etc. from outside the hotel.
9. Ordered dry cleaning and lost items are stored 3 months after checkout (except for food), and after that, shall take appropriate action.
10. Items in the hotel.
    (a) Only use them for their intended purposes.
    (b) Don't take them out of the hotel.
    (c) Don't move them to other places or modify them.
11. Don't use guest rooms for purposes other than accommodation.

Requests

1. Please pay the bill when you arrive. Also, please pay when the front desk presents a bill, for each night, etc.
2. We give you a receipt when you check out, in principle. We can't print an amount more than the amount received at the front desk, or total with other receipts.
3. If there is something strange about your payment, feel free to ask the front desk.
4. Do not hold meetings in a guest room that a guest is not staying in.

为了客人安全

住宿规则

为了确保酒店的安全性，住宿本酒店的客人请遵守依据住宿条款第10条的以下规则。
若无法做到本规则规定事项，酒店将可能依据住宿条款第7条谢绝继续在本酒店住宿。

记

1. 请勿在客房内使用暖气、烹调用的火器等。
2. 请勿在床上等容易引起火灾的场所吸烟。
3. 以下物品请勿带入大堂及客房内。
   (a) 动物、鸟类(宠物类)。
   (b) 会发出恶臭的物品。
   (c) 火药或挥发油等容易起火或引火的物品。
   (d) 没有依法取得持有许可的枪炮刀剑类物品。
4. 不得在酒店内进行赌博、扰乱风纪的行为以及其它会骚扰其他客人的言行。
5. 请不要把访客带入客房。
6. 请不要把客房或大堂用作事务所展览室。
7. 请不要做出向酒店内客人散发广告等行为。
8. 请不要从酒店外订购餐饮等。
9. 在酒店存放的洗完后的衣服及遗忘物品的保管期(食品类除外)为退房后3个月。此后的处置将依据法律规定进行处理。
10. 关于酒店内用品。
    (a) 请勿用于使用目的以外的用途。
    (b) 请不要拿出酒店以外。
    (c) 请不要移动至其它场所或进行加工。
11. 客房不要用于住宿以外的用途。

须知

1. 请在抵达酒店时付款。或者按每一宿付款，拿到服务台提交的付款单时进行付款。
2. 发票原则上在办退房手续时出具。发票不可开具服务台收取金额以上的金额或者与其它发票合计的金额，请予以谅解。
3. 付款如有不明白之处，请不要犹豫向服务台进行询问。
4. 勿在客房内与住宿者以外的客人会客，特请注意。

宿泊約款

（適用範囲）

第１条　当ホテル（館）が宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとします。

2. 当ホテル（館）が、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

（宿泊契約の申込み）

第２条　当ホテル（館）に宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当ホテル（館）に申し出ていただきます。

（1）宿泊者名
（2）宿泊日及び到着予定時刻
（3）その他当ホテル（館）が必要と認める事項

2. 宿泊客が、宿泊中に前項第２号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテル（館）は、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。

（宿泊契約の成立等）

第３条　宿泊契約は、当ホテル（館）が前条の申し込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテル（館）が承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。

2. 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間（３日を超えるときは３日間）の基本宿泊料を限度として当ホテル（館）が定める申込金を、お支払いいただく場合がございます。
3. 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第６条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。
4. 第２項の申込金を同項の規定により当ホテル（館）が指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当ホテル（館）がその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

（申込金の支払いを要しないこととする特約）

第４条　前条第２項の規定にかかわらず、当ホテル（館）は、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。

2. 宿泊契約の申し込みを承諾するに当たり、当ホテル（館）が前条第２項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱いさせていただきます。

（宿泊契約締結の拒否）

第５条　当ホテル（館）は、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。

（1）宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。
（2）満室（員）により客室の余裕がないとき。
（3）宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
（4）宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき。
イ. 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成３年法律第７７号）第２条第２号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）、同条第２条第６号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
ロ. 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
ハ. 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
（5）宿泊しようとする者が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
（6）宿泊しようとする者が、伝染病者であると明らかに認められるとき。
（7）宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
（8）天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
（9）都道府県条例に特に規定される場合に該当するとき。

（宿泊客の契約解除権）

第６条　宿泊客は、当ホテル（館）に申し出て、宿泊契約を解除することができます。

2. 当ホテル（館）は、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第３条第２項の規定により当ホテル（館）が申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。）は、別表第２に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテル（館）が第４条第１項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテル（館）が宿泊客に告知したときに限ります。
3. 当ホテル（館）は、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の21:00（あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を２時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

（当ホテル（館）の契約解除権）

第７条　当ホテル（館）は、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。

（1）宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
（2）宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき。
イ. 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
ロ. 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
ハ. 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
（3）宿泊客が他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
（4）宿泊客が伝染病者であると明らかに認められるとき。
（5）宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
（6）天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
（7）都道府県条例の規定する場合に該当するとき。
（8）寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテル（館）が定める利用規則の禁止事項（火災予防上必要なものに限る。）に従わないとき。

2. 当ホテル（館）が前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

（宿泊の登録）

第８条　宿泊客は、宿泊日当日、当ホテル（館）のフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

（1）宿泊客の氏名、年令、性別、住所及び職業
（2）外国人にあっては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日
（3）出発日及び出発予定時刻
（4）その他当ホテル（館）が必要と認める事項

2. 宿泊客が第12条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

（客室の使用時間）

第９条　宿泊客が当ホテル（館）の客室を使用できる時間は、16:00から翌朝10:00までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。

2. 当ホテル（館）は、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。

（追加料金）　シングル　　１時間毎　1,000 円
　　ツイン・ダブル　１時間毎　1,500 円
　　14:00以降　　室料の全額

（利用規則の遵守）

第10条　宿泊客は、当ホテル（館）内においては、当ホテル（館）が定めてホテル（館）内に掲示した利用規則に従っていただきます。

（営業時間）

第11条　当ホテル（館）の主な施設等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備付けパンフレット、各所の掲示、客室内のサービスディレクトリー等で御案内いたします。

（1）フロント／24時間
（2）１階　自販機コーナー／24時間
（3）３階　コインランドリー・電子レンジ／24時間
（4）１階　北海屋（居酒屋）／
　　夜：17:00から23:00（ラストオーダー 22:30）
　　朝食：6:30から9:00

2. 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

（料金の支払い）

第12条　宿泊者が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第１に掲げるところによります。

2. 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテル（館）が認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の到着の際又は当ホテル（館）が請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
3. 当ホテル（館）が宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

（当ホテル（館）の責任）

第13条　当ホテル（館）は、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテル（館）の責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

2. 当ホテル（館）は、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

（契約した客室の提供ができないときの取扱い）

第14条　当ホテル（館）は、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。

2. 当ホテル（館）は、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテル（館）の責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

（寄託物等の取扱い）

第15条　宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテル（館）は、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当ホテル（館）がその種類及び価額の明告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当ホテル（館）は５万円を限度としてその損害を賠償します。

2. 宿泊客が、当ホテル（館）内にお持込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当ホテル（館）の故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテル（館）は、その損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の明告のなかったものについては、当ホテル（館）に故意又は重大な過失がある場合を除き、５万円を限度として当ホテル（館）はその損害を賠償します。

（宿泊客の手荷物又は携帯品の保管）

第16条　宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテル（館）に到着した場合は、その到着前に当ホテル（館）が了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。

2. 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテル（館）に置き忘れられていた場合において、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含め３ケ月間保管し、その後については、適切な処置に基づき取り扱いさせていただきます。
3. 前２項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテル（館）の責任は、第１項の場合にあっては前条第１項の規定に、前項の場合にあっては同条第２項の規定に準じるものとします。

（駐車の責任）

第17条　宿泊客が当ホテル（館）の駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテル（館）は場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテル（館）の故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

（宿泊客の責任）

第18条　宿泊客の故意又は過失により当ホテル（館）が損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテル（館）に対し、その損害を賠償していただきます。

第19条　別表第１

宿泊料金等の内訳（第２条第１項及び第12条第１項関係）

		内訳
宿泊客が支払うべき総額	宿泊料金	基本宿泊料（室料）
	追加料金	飲食代及び、その他利用料金
	税金	消費税

別表第２

違約金（第６条第２項関係）

	契約申込人数	一般	団体	
		14名まで	15～99名まで	100名以上
契約解除の通知を受けた日	不泊	100%	100%	100%
	当日	80%	80%	100%
	前日	20%	20%	80%
	9日前	0%	10%	20%
	20日前	0%	0%	10%

Accommodation Contract

Article 1 - Scope of Application

01.01. The Accommodation Contract and related contracts to be concluded between our Hotel (Ryokan) and the Guest shall be based on this Contract under the following terms and conditions of our Contract.
Any matter not stipulated in this Contract shall be governed by ordinance and generally established practice.

01.02. When our Hotel (Ryokan) has agreed to conclude a Special Contract without conflicting with ordinances and established practice, the said Special Contract shall prevail.

Article 2 - Application for an Accommodation Contract

02.01. The Guest who intends to apply to our Hotel (Ryokan) for an Accommodation Contract will be required to provide our Hotel (Ryokan) with the following particulars :
(1) Name(s) of Guest(s) to be registered.
(2) Date(s) scheduled for overnight stay and estimated time of arrival.
(3) Other information considered necessary by our Hotel (Ryokan).

02.02. In the case that the Guest has requested, during his/her stay, an extension of an overnight stay beyond the date described in the preceding Paragraph (2) above, our Hotel (Ryokan) shall handle his/her request as a new application for an Accommodation Contract which has been made at the point in time when the said request has been made.

Article 3 - Conclusion, etc. of the Accommodation Contract

03.01. The Accommodation Contract shall be considered to have been concluded at the time when our Hotel (Ryokan) has accepted the application described in the preceding Article, unless our Hotel (Ryokan) has certified that our Hotel (Ryokan) has not accepted the said application.

03.02. When the Accommodation Contract has been concluded under the provision of the preceding Paragraph, the Application Money payable for the period scheduled for overnight stay as prescribed by our Hotel (Ryokan) shall be paid, up to the maximum amount equal to the basic accommodation charge for 3 days in cases where the period scheduled for overnight stay exceeds 3 days.

03.03. The Application Money shall first be applied to the final payment of the Accommodation Charge payable, and when the circumstances requiring application of the provisions of Article 6 and Article 18 have arisen, to penalty and then to compensation money in this order. If there is any balance left, it will be repaid at the time when the Accommodation Charge is paid as provided in Article 12.

03.04. In the case that the Application Money described in Paragraph 2 of this Article has not been paid by the date set by us as stipulated in the same Paragraph, the Accommodation Contract shall become invalid, but limited only to the case where our Hotel (Ryokan) has notified the Guest to that effect at the time when prescribing the day due for payment of the Application Money.

Article 4 - Special Contract Not Requiring Payment of the Application Money

04.01. Notwithstanding the provision of the preceding Article, Paragraph 2, there are cases where our Hotel (Ryokan) accepts a Special Contract which does not require payment of the Application Money specified in the said Paragraph after the conclusion of the Contract.

04.02. When accepting an application for an Accommodation Contract, in the case that our Hotel (Ryokan) fails to request payment of the Application Money specified in the preceding Article, Paragraph 2, and/or in the case that it fails to prescribe the due date for payment of the said Application Money, the Special Contract described in the preceding Paragraph shall be considered to have been accepted.

Article 5 - Refusal of the Conclusion of the Accommodation Contract

05.01. The following are cases where our Hotel (Ryokan) will not accept the conclusion of the Accommodation Contract :
(1) When application for accommodation is not based on this Contract.
(2) When there is no room available due to full occupancy.
(3) When the Guest seeking accommodation is considered likely to behave in violation of the provisions of ordinances, public order or good public morals.
(4) When the Guest seeking accommodation is considered to be corresponding to the following (a) to (c).
(a) Gang stipulated in the law in respect to prevention, etc. against illegal actions by gang members (1991 Law item 77) article 2 item 2 (hereinafter referred to as "gang group"), gang member stipulated by the same law article 2 item 6 (hereinafter referred to as "gang member"), gang group semi-regular members or gang member related persons and other antisocial forces.
(b) When gang group or gang members are associates of corporations or other bodies to control business activities.
(c) When a corporate body has persons related to gang members.
(5) When the guest seeking accommodation behaves extremely in a mischievous way against other hotel guests.
(6) When the Guest seeking accommodation is clearly considered to be a patient with an infectious disease.
(7) When the guest seeking accommodation carried out a violent requesting act, or demanded a burden beyond reasonable purview.
(8) When act of God, trouble with facilities, or other unavoidable causes prevent the Guest from staying at our Hotel (Ryokan).
(9) When the provision of an ordinance issued by the Prefecture is applicable.

Article 6 - The Guest's Right to Cancel the Contract

06.01. The Guest may request our Hotel (Ryokan) to cancel the Accommodation Contract.

06.02. In the case that the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes attributable to him/her (which is the case when our Hotel (Ryokan) has requested payment of the Application Money by prescribing the date due for such payment under the provision of Article 3, Paragraph 2, except in the case when the Guest has cancelled the Accommodation Contract prior to such payment), payment of penalty shall be required as specified in the attached Schedule II, but in the case that our Hotel (Ryokan) has accepted a Special Contract described in Article 4, Paragraph 1 this provision shall be applied only to the case where our Hotel (Ryokan) has notified the Guest of his/her responsibility to pay a penalty for cancellation of the Contract when accepting the Special Contract.

06.03. In the case that the Guest does not arrive by 21:00. on the day of an overnight stay without informing our Hotel (Ryokan) of a delay (or after the lapse of 2 hours past the scheduled time of arrival if indicated by the Guest beforehand), the Accommodation Contract concerned may be considered to have been cancelled by the Guest and will be handled accordingly.

Article 7 - The Right of Our Hotel (Ryokan) to Cancel the Contract

07.01. The following are cases where our Hotel (Ryokan) may cancel the Accommodation Contract :
(1) When the Guest is considered likely to behave in violation of the provisions of ordinances, public order or good public morals, or he/she is considered to have behaved in such a manner.
(2) When the Guest is considered to be corresponding to the following (a) to (c).
(a) Gang group, gang member, gang group semi-regular members, gang member related person or other antisocial forces.
(b) When a corporate body or other organization where gang groups or gang members control business activities.
(c) In a corporate body which has a person who corresponds to a gang member in its board members.
(3) When the Guest in accommodation is clearly considered to behave in a mischievous way against other hotel guests.
(4) When the Guest is clearly considered to be a patient with an infectious disease.
(5) When the guest seeking accommodation carried out a violent requesting act, or demanded a burden beyond reasonable purview.
(6) When a disaster or other act of God prevents the Guest from staying at our Hotel (Ryokan).
(7) When the provision of an ordinance issued by the prefecture is applicable.
(8) When the Guest smokes in bed or vandalizes fire protection facilities, or does not comply with the matters prohibited by our Hotel (Ryokan) (limited only to those matters necessary for fire prevention) among the rules of use prescribed by our Hotel (Ryokan).

07.02. In cases where our Hotel (Ryokan) has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the provision of the preceding Paragraph, charges for accommodation service, etc. which have not yet been offered to the Guest shall not be receivable.

Article 8 - Registration of Accommodation

08.01. The Guest will be required to register the following particulars at the front desk of our Hotel (Ryokan) :
(1) Name, age, sex, address and occupation of the Guest.
(2) Nationality, passport number, place entered and date entered, in the case of a foreign guest.
(3) Scheduled date and time of departure.
(4) Other particulars considered necessary by our Hotel (Ryokan).

08.02. In the case that the Guest intends to pay the charges described in Article 12 by using such means in place of currency as traveler's checks, accommodation coupons, credit card, etc., he/she will be required to show them at the time of registration described in the preceding Paragraph.

Article 9 - Time Allowed for Use of the Guest room

09.01. The time allowed for the Guest to use the guest room of our Hotel (Ryokan) shall be from 16:00 till 10:00 of the following morning, except when the Guest stays for more than one night in succession, in which case the Guest may use the guest room all day except the day of arrival and the day of departure.

09.02. Notwithstanding the provision of the preceding Paragraph, there are cases where our Hotel (Ryokan) may accept the use of the guest room in hours other than those specified in the preceding Paragraph, in which case an additional charge will be required as specified below.
Single room : 1,000 yen per hour
Twin room : 1,500 yen per hour
After 14:00 : Full amount equal to the room charge

Article 10 - Compliance of the Rules of Use of the Hotel (Ryokan)

10.01. While staying in our Hotel (Ryokan), the Guest will be required to comply with the Rules of Use posted inside our Hotel (Ryokan) as prescribed by us.

Article 11 - Business Hours

11.01. The business hours of principal facilities in our Hotel (Ryokan) shall be as follows. Details of the service hours of other facilities are explained in the pamphlet provided, displays at major points inside our Hotel (Ryokan), and the service directory provided in each guest room.
(1) Service Hours of Front Desk : 24 hours
(2) Vending machine corner on the 1st floor : 24 hours
(3) Coin laundry, microwave oven on the 3rd floor : 24 hours
(4) Hokkai-ya (*Izakaya*) on the 1st floor :
Night : Open 17:00 to 23:00
(Last order 22:30)
Breakfast : 6:30 to 9:00

11.02. The service hours described in the preceding Paragraph may be changed temporarily for unavoidable reasons, in which case the Guest will be notified by proper means.

Article 12 - Payment of Charges

12.01. The breakdown of the accommodation charge, etc. payable by the Guest shall be as listed in the attached Schedule I.

12.02. Payment of the accommodation charges, etc. described in the preceding Paragraph shall be made in currency or by other alternative means acceptable by our Hotel (Ryokan), such as traveler's check, accommodation coupon, credit card, etc., at the front desk at the time when the Guest arrives at our Hotel (Ryokan) or is charged by our Hotel (Ryokan).

12.03. In the case that the Guest has not stayed at our Hotel (Ryokan) at his/her discretion even after we have offered the guest room to the Guest and made it available for him/her to use, the accommodation charge will still be charged.

Article 13 - Responsibility of Our Hotel (Ryokan)

13.01. In the case that we have inflicted damage on the Guest in the course of fulfilling the Accommodation Contract or related Contracts or in breach of these Contracts, we shall compensate for the said damage, unless the said damage has been caused due to a cause not attributable to us.

13.02. Our Hotel (Ryokan) is covered by the Hotel (Ryokan) liability insurance to cope with emergencies in the case of fire, etc.

Article 14 - Handling in Case the Guest Room Contracted Is Not Available

14.01. Should the guest room contracted for the Guest under the Accommodation Contract become unavailable for him/her, our Hotel (Ryokan) shall try to offer other accommodation facilities under the same conditions as the original Accommodation Contract as far as possible, subject to the consent of the Guest concerned.

14.02. Notwithstanding the provision of the preceding Paragraph, in cases where we are unable to offer other accommodation facilities to the Guest, we shall pay to him/her a compensation charge equivalent to the penalty, which will be applied to the amount of the compensable damage. However, in cases where there is no cause attributable to us for not being able to offer the guest room, we shall not pay the compensation charge.

Article 15 - Handling of Checked Articles, etc.

15.01. When the articles, cash and/or valuables checked by the Guest at the front desk have been lost or damaged, our Hotel (Ryokan) shall compensate for the damage, unless the loss or damage has been caused by force de majeure. However, in the case of cash and valuables, we shall do so only when the Guest has clearly reported the kind and value of such cash and valuables at our request. Otherwise we shall compensate for the damage up to the maximum amount of 50,000 yen.

15.02. When the Guest has brought into our Hotel (Ryokan) articles, cash and/or valuables but has not checked them at the front desk, we shall compensate for the loss or damage inflicted on them if caused intentionally or negligently on our part, except when the Guest has not clearly reported to us beforehand

the kind and value of such items lost or damaged, in which case we shall compensate for the loss or damage up to the maximum amount of 50,000 yen unless we are intentionally or negligently responsible for such loss or damage.

Article 16 - Custody of the Baggage or Personal Belongings of the Guest

16.01. When the baggage of the Guest has arrived at our Hotel (Ryokan) prior to his/her arrival, our Hotel (Ryokan) will keep it subject to our agreement given prior to its arrival, and will hand it to the Guest at the time when he/she checks in at the front desk.

16.02. In the case that the baggage or personal belongings of the Guest are found misplaced after he/she has checked out, when there are no instructions from the owner or the owner has not been identified, our Hotel (Ryokan) shall keep them for 3 months including the day when they have been found, and after that, shall take appropriate action.

16.03. The responsibility of our Hotel (Ryokan) regarding the custody of the Guest's baggage or personal belongings in the case of the preceding two Paragraphs shall conform to the provision of the preceding Article, Paragraph 1, in the case of Paragraph 1 of this Article and to the provision of the preceding Article, Paragraph 2, in the case of the preceding Paragraph. 16.02.

Article 17- Responsibility for Parking

17.01. When the Guest uses the parking area of our Hotel (Ryokan), our Hotel (Ryokan) only lends the parking area and does not assume responsibility for care and custody of the vehicle parked, regardless of whether or not our Hotel (Ryokan) has been asked to keep the key to the vehicle. However, our Hotel (Ryokan) shall be liable for compensation if and when the vehicle parked is damaged intentionally or negligently on our side while keeping the parking area under our control.

Article 18 - Responsibility of the Guest

18.01. In the case that our Hotel (Ryokan) has suffered damage due to the intention or fault of the Guest, the Guest will be required to compensate to our Hotel (Ryokan) for the said damage.

Article 19

Attached Schedule I

Breakdown of Accommodation Charge (concerning Articles 2-1 and 12-1)

		Breakdown
Total amount to be paid by a guest	Accommodation charge	Basic accommodation charge (Room charge)
	Additional charges	Meal & beverage charge, other usage charges
	Tax	Consumption tax

Attached Schedule II

Penalty (concerning 6-2)

	Number of guests subscribed	Individual guests (from 1 to 14)	Group guests (from 15 to 99)	Group guests (100 or more)
Day when cancellation notice received	No show	100%	100%	100%
	Accommodation day	80%	80%	100%
	1 day prior to Accommodation day	20%	20%	80%
	9 days prior to Accommodation day	0%	10%	20%
	20 days prior to Accommodation day	0%	0%	0%

饭店住宿条款

（适用范围）

第 1 条　本饭店（旅馆）和住宿旅客之间签订的住宿契约及与此相关之契约，依照本条约之规定事项，至于本条约无规定之事项，依照法令或一般确定的习惯。

2. 本饭店（旅馆）在不违反法令及习惯的范围内按照特约时，不受限于前项之规定，该特约优先适用。

（住宿契约之申请）

第 2 条　欲向本饭店（旅馆）申请住宿契约者，请向本饭店（旅馆）声明以下事项。

（1）住宿者姓名

（2）住宿日期及预定抵达时间

（3）其他本饭店（旅馆）认为必须之事项

2. 住宿旅客于住宿期间内超过第 2 款之住宿日期，声请继续住宿时，本饭店（旅馆）以其声请的时间点，作为住宿旅客申请了新的住宿契约处理。

（住宿契约之成立）

第 3 条　住宿契约于本饭店（旅馆）承诺前条之申请时成立。但证明本饭店（旅馆）没有承诺时，不在此限。

2. 住宿契约依照前项之规定成立时，以住宿期间（超过 3 天者以 3 天计算）的基本住宿费为限，可能会被要求支付本饭店（旅馆）规定的申请费。

3. 申请费先抵扣住宿旅客最后该支付的住宿费用，发生适用于第 6 条及第 18 条之规定的情况时，按照违约金、赔偿金的优先顺位抵扣，如有残额，于按照第 12 条之规定支付费用时返还。

4. 住宿旅客未按第 2 项之规定于本饭店（旅馆）指定的日期之前支付申请费时，住宿契约失去其效力。但仅限于指定申请费的支付日期时，本饭店（旅馆）告知住宿旅客该意旨。

（不需要支付申请费的特约）

第 4 条　尽管有前条第 2 项之规，本饭店（旅馆）有时接受特约，不需要在契约成立后支付该项的申请费。

2. 承诺住宿契约之申请时，本饭店（旅馆）没有要求支付第 2 项之申请费及没有指定该申请费之支付日期时，当作不接受前项之特约处理。

（拒绝签订住宿契约）

第 5 条　本饭店（旅馆）在以下情况下，有时不接受住宿契约之签订。

（1）住宿之申请不依照本条约时。

（2）客满而没有空房间时。

（3）欲住宿者在住宿方面，有违反法令规定、公共秩序或善良风俗的行为之虞时。

（4）欲住宿者符合以下 1）至 3）的情况时。

1）《防止暴力团成员不法行为等的法律》（1991 年法律第 77 号）第 2 条第 2 款规定的暴力团（下称「暴力团」。）、该条第 2 条第 6 款规定的暴力团成员（下称「暴力团成员」。）、暴力团准构成成员或暴力团相关人员及其他反社会势力

2）暴力团或暴力团成员操纵的法人及其他团体

3）公司董事中有符合暴力团成员条件的法人

（5）欲住宿者做出了给其他住宿旅客带来麻烦的言行时。

（6）欲住宿者显然带有传染病时。

（7）在住宿方面进行暴力性要求，或者要求本饭店（旅馆）负担超出住宿的合理范围时。

（8）因天灾、设施故障、其他不可抗力之事由，导致无法住宿时。

（9）符合都道府县条例之特别规定时。

（住宿旅客的契约解除权）

第 6 条　住宿旅客向本饭店（旅馆）声请，得解除住宿契约。

2. 本饭店（旅馆）依该归责于住宿旅客之事由，解除全部或部分住宿契约时（本饭店（旅馆）依第 3 条第 2 项之规定，指定申请费之支付日期，要求该支付的情况下，住宿旅客在该支付前解除住宿契约除外。），依照附表 2 揭示之内容，收取违约金。但如本饭店（旅馆）接受第 4 条第 1 项之特约，则仅限于接受该特约时，本饭店（旅馆针对住宿旅客于解除住宿契约时的违约金支付义务，）告知住宿旅客。

3. 住宿旅客没有连络，且在住宿日当天 21:00（事先明示预定抵达时间时，超过该时间 2 小时的时间）仍未抵达时，本饭店（旅馆）有时会视住宿旅客解除该住宿契约处理。

（本饭店（旅馆）的契约解除权）

第 7 条　本饭店（旅馆）在以下的情况，有时会解除住宿契约。

（1）住宿旅客在住宿方面有违反法令规定、公共秩序或善良风俗的行为之虞，或经确认做了该行为时。

（2）住宿旅客符合以下 1）至 3）的情况时。

1）暴力团、暴力团成员、暴力团准构成成员或暴力团相关人员及其他反社会势力

2）暴力团或暴力团成员操纵的法人及其他团体

3）公司董事中有符合暴力团成员条件的法人

（3）住宿旅客做出了给其他住宿旅客带来麻烦的言行时。

（4）住宿旅客明显传染病时。

（5）在住宿方面进行暴力性要求，或者要求本饭店（旅馆）负担超出住宿的合理范围时。

（6）因天灾等不可抗力之事由，导致无法住宿时。

（7）符合都道府县条例之规定时。

（8）在寝室的睡上抽烟、对消防设备等恶作剧，不遵从其他本饭店（旅馆）规定的使用规则之禁止事项（仅限于预范火灾上必须之事项。）时。

2. 本饭店（旅馆）基于前项之规定解除住宿契约时，不收取住宿旅客尚未接受提供的住宿服务等之费用。

（住宿之登记）

第 8 条　住宿旅客于住宿日当天，在本饭店（旅馆）的柜台登记以下事项。

（1）住宿旅客的姓名、年龄、性别、住址及职业

（2）如为外国人，则登记国籍、护照号码、入境地及入境年月日

（3）退房日及预定退房时间

（4）其他本饭店（旅馆）认为必须之事项

2. 住宿旅客欲以旅行支票、住宿券、信用卡等能够代替货币之方法支付第 12 条之费用时，请事先于前项登记时出示。

（客房的使用时间）

第 9 条　住宿旅客能够使用本饭店（旅馆）的客房之时间为16:00至隔天10:00止。但连续住宿的情况下，除了抵达日及退房日之外，得全天使用。

2. 尽管有前项之规定，本饭店（旅馆）有时接受该项规定之时间外的客房使用。以下情况收取追加费用。

（追加费用）

单人房　　每小时 1,000 日元

套房・双人房　　每小时 1,500 日元

14:00 以后　　全额房费

（使用规则之遵守）

第 10 条　住宿旅客于本饭店（旅馆）内，需遵照本饭店（旅馆）规定并揭示于饭店（旅馆）内的使用规则。

（营业时间）

第 11 条　本饭店（旅馆）的主要设施等之营业时间如下，其他设施等之详细营业时间于柜台手册、各处的揭示、客房内的服务目录中介绍。

（1）服务台／24 小时

（2）1 楼　自动贩卖机房／24 小时

（3）3 楼　投币洗衣机、微波炉／24 小时

（4）1 楼　北海屋（居酒屋）／

晚上：17:00～23:00

（最后点单 22:30）

早餐：6:30～9:00

2. 前项的时间在不得已的情况下，有时会临时变更。该情况下，会以适当的方式通知。

（费用的支付）

第 12 条　住宿者该支付的住宿费用等明细，依照附表 1 所揭示的内容。

2. 以货币或本饭店（旅馆）认同的旅行支票、住宿券、信用卡等能够代替的方法，在住宿旅客入住时或本饭店（旅馆）请求付款时，在柜台支付前项的住宿费用等。

3. 本饭店（旅馆）提供住宿旅客客房，且能够使用之后，即使住宿旅客无端不住宿，仍要收取住宿费用。

（本饭店（旅馆）的责任）

第 13 条　本饭店（旅馆）在履行住宿契约及其相关的契约，或因不履行这些契约而造成住宿旅客的损害时，赔偿其损害。但因非该归责于本饭店（旅馆）之事由时，不在此限。

2. 本饭店（旅馆）为了因应万一火灾等意外发现时，投保了旅馆赔偿责任险。

（无法按照契约提供客房时的处置）

第 14 条　本饭店（旅馆）无法按照契约提供住宿旅客客房时，经住住宿旅客的同意，尽可能按照同样的条件，和其他住宿设施交涉。

2. 尽管有前项之规定，本饭店（旅馆）无法和其他住宿设施交涉时，支付住宿旅客相当于违约金金额的补偿金，其补偿料充当损害赔偿额。但关于无法客房，没有该归责于本饭店（旅馆）之事由时，不支付补偿金。

（寄托物等的处置）

第 15 条　住宿旅客寄放放柜台的物品或现金及贵重物品，产生遗失、毁损等损害时，除了不可抗力的情况之外，本饭店（旅馆）赔偿其损害。但现金及贵重物品在本饭店（旅馆）寻求明白告知其种类及价格的情况下，但住宿旅客不为之时，本饭店（旅馆）赔偿其损害的上限为 5 万日元。

2. 住宿旅客带进本饭店（旅馆）内的物品或现金及贵重物品没有寄放在柜台，因本饭店（旅馆）的故意或过失，产生遗失、毁损等损害时，本饭店（旅馆）赔偿其损害。但住宿旅客没有事先明白告知种类及价格，除了本饭店（旅馆）有故意或重大过失的情况之外，本店（旅馆）赔偿其损害的上限为 5 万日元。

（住宿旅客的随身行李或携带物品之保管）

第 16 条　住宿旅客的随身行李在住宿之前抵达本饭店（旅馆）的情况下，仅限于本饭店（旅馆）在其抵达之前同意，负责保管，并于住宿旅客在柜台办理住房手续时交付。

2. 住宿旅客在退房之后，住宿旅客的随身行李或携带物品放在本饭店（旅馆）忘了带走的情况下，如没有持有者的指示或持有者不明确时，将保管包含发现日在内的 3 个月，然后依据规定进行适当的处理。

3. 关于前 2 项的情况下，住宿旅客的随身行李或携带物品之保管，本饭店（旅馆）的责任为第 1 项的情况下，以前条第 1 项之规定为准，为前项的情况下，以该条第 2 项之规定为准。

（停车的责任）

第 17 条　住宿旅客若使用本饭店（旅馆）停车场，无论如何寄放车辆钥匙，本饭店（旅馆）只出租车位，不负车辆之管理责任。但在管理停车场，因本饭店（旅馆）的故意或过失造成损害时，负责其赔偿。

（住宿旅客的责任）

第 18 条　因住宿旅客的故意或过失，使本饭店（旅馆）蒙受损害时，该住宿旅客对本饭店（旅馆）赔偿其损害。

第 19 条　附表 1

住宿费用等的明细（第 2 条第 1 项及第 12 条第 1 项）

		明细
住宿旅客该支付的总额	住宿费用	基本住宿费（房间费用）
	追加费用	餐饮费及其他费用
	税金	消费税

附表 2

违约金（第 6 条第 2 项）

	契约申请人数	一般	团体	
		14名以下	15～99名	100名以上
收到解除契约通知的日期	不住宿	100%	100%	100%
	当天	80%	80%	100%
	前一天	20%	20%	80%
	9 天前	0%	10%	20%
	20 天前	0%	0%	10%